

加齢に伴う難聴に悩んでいませんか？

最近、耳が遠くなったと感じることはありませんか？
難聴になると他者とのコミュニケーションが減り、認知機能の低下、うつになるといったリスクが高まります。
聴こえにくいと感じたら、早めに医療機関を受診しましょう。



こんなことはありませんか？

☒ 「聴こえ」をセルフチェック！

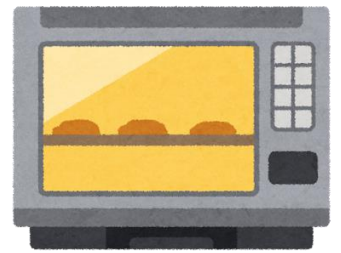
☐ 会話をしているとき、聞き返すことがある。



☐ うしろから呼ばれると、気づかないことがある。



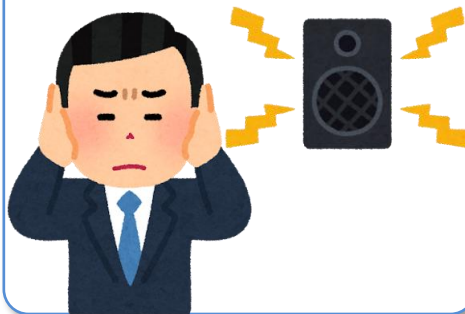
☐ 電子レンジなどの電子音が聞こえない。



☐ 相手の言ったことを推測で判断することがある。



☐ 家族に「テレビやラジオの音大きい」と注意されることがある。



☐ 聞き間違いが多い。

しちに
ごはん食べた。

いちじ



1つでも当てはまる方は早めに医療機関を受診！

75歳以上の約半数が難聴に悩んでいます。

60歳代になると、「軽度難聴」レベルまで聴力が低下する音域が増え、聴こえが悪くなったことを感じる人が急激に増えてきます。

さらに70歳を超えるとほとんどの音域の聴力が「軽度難聴」～「中等度難聴」レベルまで低下してしまいます。

65～74歳では3人に1人、75歳以上では約半数が難聴に悩んでいると言われています。

加齢性難聴の聴こえ方

加齢性難聴は「小さな音が聴こえにくく」、「言葉がはっきり聴き取りづらく」なります。

高い周波数から聴こえにくくなるのが特徴です。そのため、まず「ドアのチャイム音」や「体温計の音」が聴こえにくくなります。

言葉では、母音よりも子音が聴き取りづらくなり、聞き間違いが増えます。

その結果、「何を言っているのかわからない」と、必要以上にテレビの音量を大きくしたくなります。

さらに難聴が進行すると、「大きな声でも会話が聴き取れない」、「音源がどこかわからない」といった症状が生じることもあります。

難聴のリスク

高齢者の難聴は、聴こえにくさから他者との会話、コミュニケーションが困難となり、さらに社会とのつながりが希薄となることが「認知症や社会的孤立の要因」となると言われています。

難聴を早期に発見し、支援を行うことで、聴こえにくさから起こるかもしれない症状を予防し、よりよい「聴こえ」で健康的な人生を楽しみましょう。

お問合せ：裾野市役所介護保険課

TEL:055-995-1821

〒410-1192 裾野市佐野1059番地